

2015年8月6日

株式会社 電通
代表取締役社長執行役員 石井 直
(東証第1部 証券コード: 4324)

**電通が運用するベンチャーファンド「電通ベンチャーズ」、
ソーシャルロボット開発の米国スタートアップ企業「Jibo社」に出資**

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：石井 直）が運用するコーポレート・ベンチャーキャピタル・ファンド「電通ベンチャーズ1号グローバルファンド」（以下「電通ベンチャーズ」）は、米国のソーシャルロボット開発のスタートアップ企業である Jibo, Inc.（本社：マサチューセッツ州ボストン、CEO：スティーブ・チェインバース、以下「Jibo社」）に約3.7億円を出資することにしました。

電通ベンチャーズは、まだ見ぬ未来を作り出していく野心的なスタートアップ企業への投資と、投資先との協業を通じた当社グループのオープンイノベーションを実現するために、本年4月に設立したファンドです。資金提供のみならず、当社グループならではの課題解決に向けたソリューションやリソースを提供することで事業や起業家を支援していきます。その第一号案件が Jibo社になりました。

Jibo社は、ソーシャルロボットのパイオニアとして知られるマサチューセッツ工科大学教授のシンシア・ブリジール博士が創業した、ソーシャルロボット「Jibo（ジーボ）」の開発・製造・販売を目指す企業です。Jiboには音声および感情認識や自然言語処理、機械学習、感情表現ディスプレイや動作などの技術が採り入れられており、家庭内のメンバーと交友し信頼関係を築けるようにデザインされています。

電通ベンチャーズは、Jiboは情報摂取のあり方を根本的に変える全く新しいタイプのメディアとして発展していき、スマートホームにおける起点インフラ、コミュニケーションのハブとしての機能も担っていく可能性があると考えています。

今後、当社グループではそうした観点からも、Jiboの開発支援や普及促進、また Jiboが将来もたらすであろう新しいビジネスを支援してまいります。

以上

出資概要と Jibo 社ならびに電通ベンチャーズの概要は以下のとおりです。

<Jibo>



<出資概要>

- ・ 出資方法：Jibo 社のシリーズ A 優先株式を第三者割当増資により電通ベンチャーズが取得
- ・ 出資総額：US\$3 million（約 3.7 億円）

<Jibo 社の概要>

社名	Jibo, Inc.
本社所在地	米国マサチューセッツ州ボストン
代表者	Steve Chambers（CEO）
従業員数	28 人
事業内容	ソーシャルロボット「Jibo」の開発・製造・販売
URL	https://www.jibo.com/

<電通ベンチャーズの概要>

名称	電通ベンチャーズ 1 号グローバルファンド（Dentsu Ventures Global Fund I）
ファンド総額	50 億円
ファンド組成時期	2015 年 4 月
運用期間	2022 年 3 月までの 7 年間で予定
投資地域	欧米・アジアなどの海外を中心に、グローバルに投資
投資ステージ	シード／アーリーステージを中心としつつ、ミッド／レイターステージも含む幅広いバランス投資
投資領域	(1) 広義のマーケティング／コミュニケーションビジネスを変革しうる領域 (2) 上記に当てはまらなくともイノベティブでポテンシャルの高い新領域
URL	http://dentsu-v.com/

【リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレート・コミュニケーション局 広報部
河南（かん）、長澤 TEL：03-6216-8041

【投資に関する問い合わせ先】

株式会社電通 「電通ベンチャーズ」 Email：info@dentsu-v.com